

公共・商業施設向けドア  
hapia public

# 吊戸引違

### 施工業者様へ

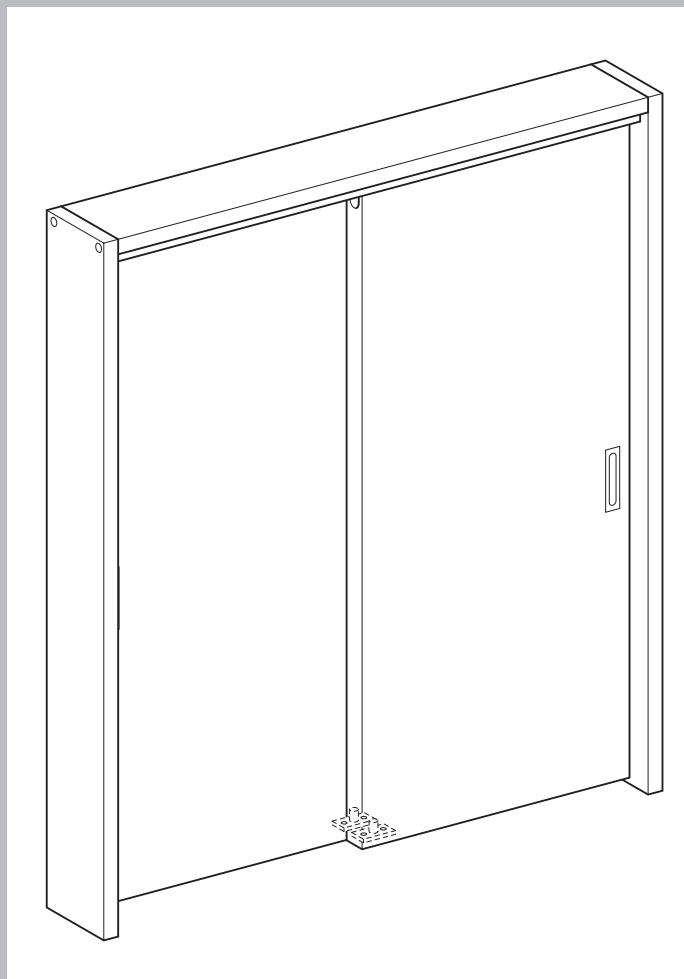
弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくため  
のお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱説明書」を添付しております。

必ず、取扱説明書をお施主様に手渡し、使用方法を説明して  
いただきますようお願いいたします。

※取扱説明書は下記のURLからダウンロードできます。  
<https://www.daiken.jp/qr/manual/>



このたびは、「DAIKEN製品」をご採用いただき  
ありがとうございます。



### ■施工の際は以下の工具をご用意ください。

- 電動ドライバー（⊕2番ビット）
- 手回しドライバー
- コンベックス等測定機器
- 水準器
- 下げ振り



※左記のマークがある場合は、  
電動ドライバーを使用しないでください。

## もくじ

### 施工説明書

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 1. 安全上のご注意（必ずお守りいただきたいこと） | 1  |
| 2. 製品寸法図                  | 3  |
| 3. 施工の流れ                  | 5  |
| 4. 各部のなまえと部材・部品表          | 6  |
| 5. 枠の取付け                  | 8  |
| 6. 吊戸レールの取付け              | 13 |
| 7. 床付ガイドピンの取付け            | 15 |
| 8. 扉の取付け                  | 17 |
| 9. 幕板の取付け                 | 19 |
| 10. 引手の取付け                | 19 |
| 11. 扉の養生                  | 19 |
| 12. ラクラクローズの動作確認          | 20 |

- この製品の性能と安全性を確保するために、この  
施工説明書をよくお読みいただき、手順通りに正  
しく施工してください。
- この説明書に出てくる⚠、🚫マークや🙏は、  
施工上重要な内容が記載されていますので、注意  
深く読み、よく理解してから作業してください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理して  
ください。
- 製品を廃棄する際は、法律および地方自治体の規  
則に基づいて適切に処理してください。

### 取扱説明書

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 1. 安全上のご注意（必ずお守りいただきたいこと） | 21 |
| 2. 使用上のお願い                | 22 |
| 3. 扉の調整のしかた               | 23 |
| 4. お手入れのしかた               | 24 |

- この説明書は、本製品の取扱い方法について説  
明します。
- この取扱説明書に記載されている「⚠ 警告」と  
「⚠ 注意」事項は、使用上重要な内容です。本  
製品の性能と安全性を確保するために、よくお読  
みいただき、正しくお使いください。
- 製品を廃棄する際は、「廃棄物の処理及び清掃に  
関する法律」および地方自治体の規則に基づいて  
適切に処理してください。
- お読みになった後は、いつでも利用できるよう  
に、この取扱説明書を大切に保管してください。

# 1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

この製品をお施主様が末永く安全に使えるように、またトラブルなく確実に正しく施工するために、以下のことを必ず守ってください。

## 警告表示の種類と内容



**警告**

誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容



**注意**

誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。



してはいけない内容です



必ず実行していただく内容です

お願い

留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法など

## 施工上のご注意



**警告**



ビスの締め付け不足、またはビスの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。製品が外れて、けがや破損のおそれがあります。

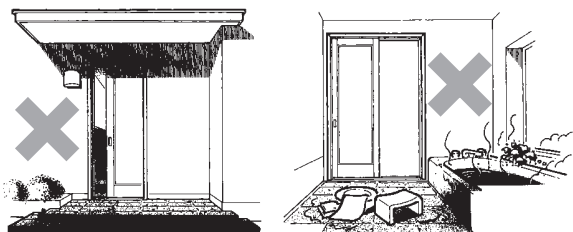
### 注意



- ・施工は本説明書にしたがって確実にこなってください。
- ・施工に使用する部品は「現場手配」と明記のないもの以外は、必ず付属部品および指定部品を使用してください。
- ・枠、レールの躯体への固定を確実にこなってください。
- ・吊車を扉に確実に取付けてください。



この吊戸は一般住宅、それに準じる公共商業施設用の室内ドアです。他の用途に使用しないでください。



本書は標準品に準じた寸法を表示しております。

特注・特寸で製造した製品については、現品のサイズ・加工などを確認のうえ施工してください。



床材がカーペットやクッションフロアなどの場合は取付けできません。



工事が完成するまでの間、扉は立てかけて保管しないでください。



施工するまで保管するときは、湿気が高い場所や直射日光が当たる場所を避けてください。



扉は水平な場所に平積みして保管してください。



照明灯、ストーブなどを近づけすぎないでください。熱によるシート変色、ふくれなどの原因となります。



扉・枠および金具、ガラスに工具などをぶつかけたり、運搬時にひきずらないようご注意ください。傷をつけるおそれがあります。


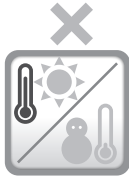






お願い

養生テープを製品に直接貼付けないでください。表面化粧がはがれたり、接着剤が残ることがあります。

## 室内ドア「hapia public」設置にあたってのご注意

hapia public は、一般住宅、それに準じる居住施設および下記施設(例)を対象とした屋内専用製品です。  
 設置の際は、以下記載の設置環境条件に、「すべて」該当することをご確認ください。  
 設置部位として挙げているものであっても、設置環境条件にひとつでも当てはまらない場合は、使用できません。

| 施設(例)  | 採用  | 水   | 温度・湿度   | 油分・粉塵   | 薬品   | 衝撃・荷重   | 設置部位(例)   |
|--|-----|---|---|---|--|---|---|
| オフィス<br>クリニック<br>エステ・マッサージ<br>理美容店<br>商店舗<br>学習施設<br>集会所<br>など | 対象  | 水が頻繁にかからない  | 常温・常湿   | 油分・粉塵が多くない  | 薬品の長期付着がない   | 異常な衝撃や負荷が加わらない  | 居室・廊下<br>食堂・洗面所<br>トイレ・倉庫<br>事務所・待合室<br>更衣室・診察室<br>集会室<br>など  |
|  | 対象外 | <br>水が頻繁にかかる※1 | <br>高温・多湿・寒冷※2 | <br>油分・粉塵が多い※3 | <br>薬品の長期付着がある※4 | <br>異常な衝撃や負荷が加わる※5 | <br>屋外<br>厨房<br>機械室<br>ボイラー室<br>共同浴場の脱衣場<br>など |

※1 屋外や共同浴場の脱衣場、また水を含んだモップ掛けて清掃するなど、頻繁に水分と接する部位への設置はおやめください。

※2 機械室やボイラー室など、高温・多湿、寒冷の過酷な設置はおやめください。

※3 厨房や機械室など、油分や粉塵が多く発生する部位への設置はおやめください。

※4 薬品の種類や放置時間によって、変色する場合がありますので、薬品が付着した場合は素早く除去してください。

※5 台車が扉にぶつかったり、子供が遊ぶなど扉の急激な開閉の繰返しや、開閉軌道とは異なる方向へ無理な力が加わることが想定される部位への設置はおやめください。

※6 本製品の表面シートは、油分や水分に長期間ふれると変色する場合があります。付着した場合は素早く除去してください。



# 2. 製品寸法図

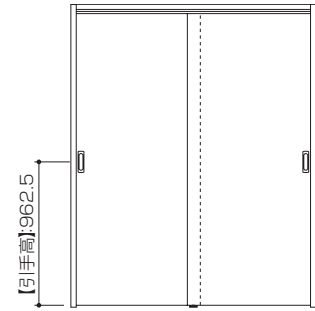
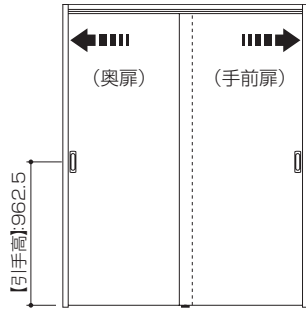
〈ラクラクローズ機能ありの場合〉

〈ラクラクローズ機能なしの場合〉

正面図

正面図

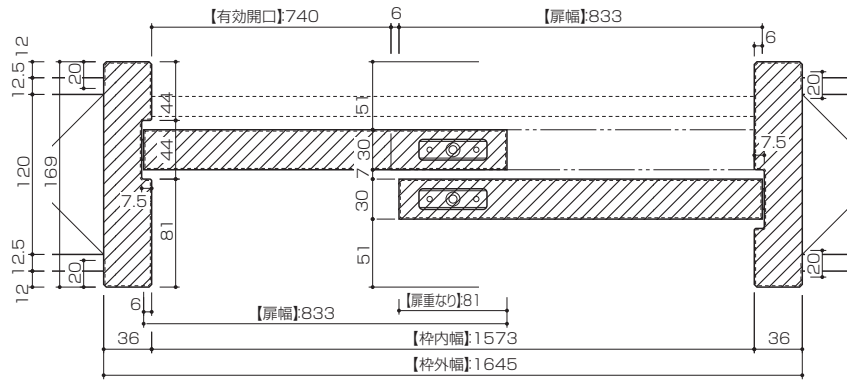
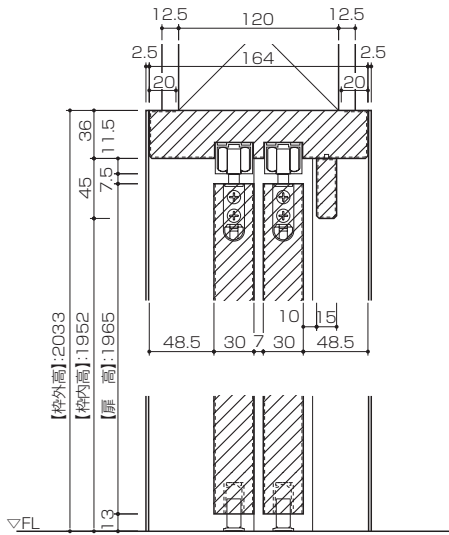

**ラクラクローズ吊戸の場合**  
 (矢印の方向に扉を閉めるときにゆっくり閉まります。)  




## 固定枠169

縦断面図

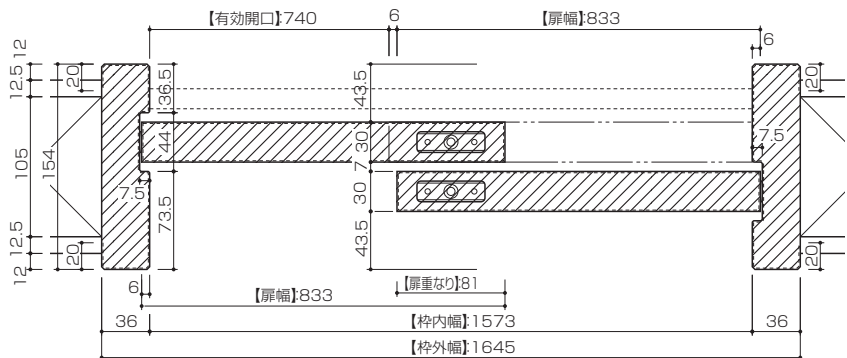
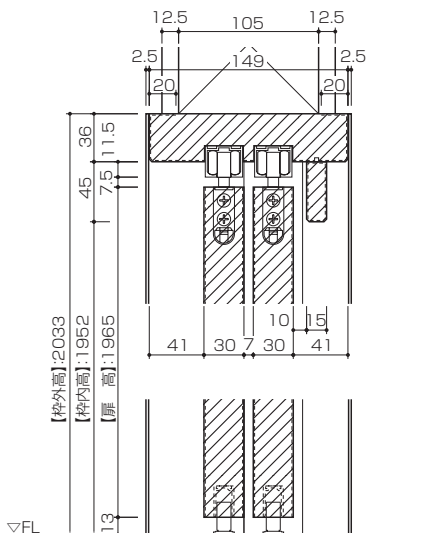
横断面図



## 固定枠154

縦断面図

横断面図

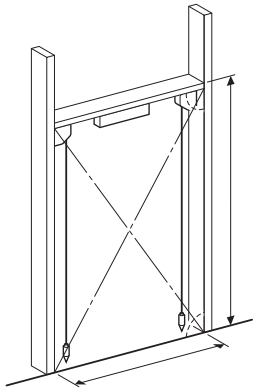




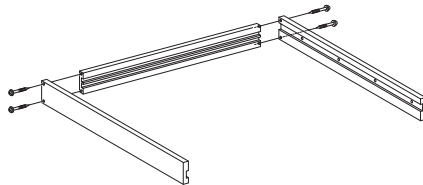
# 3. 施工の流れ

この製品を取付ける開口部に枠を取付け、次に扉を取付けます。  
取付けが終わったら、スムーズに扉が開閉できることを確認してください。

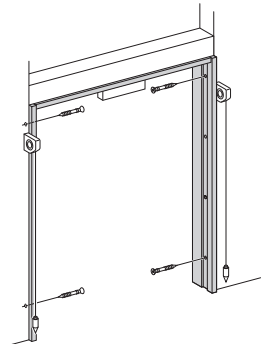
①開口部の確認  
(→P.8)



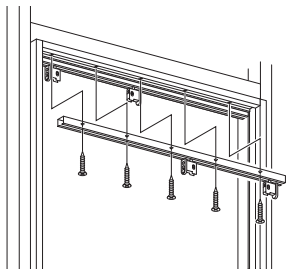
②枠の組立て  
(→P.9)



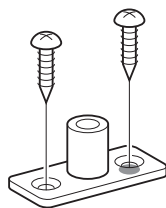
③枠の取付け (→P.10)



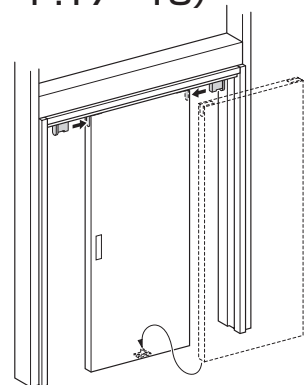
④吊戸レールの取付け  
(→P.13)



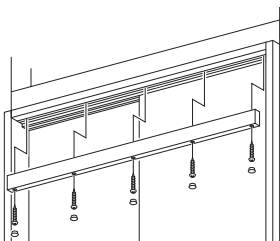
⑤床付ガイドピンの取付け  
(→P.15)



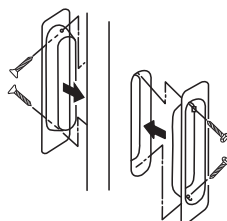
⑥扉の取付け・調整  
(→P.17・18)



⑦幕板の取付け  
(→P.19)

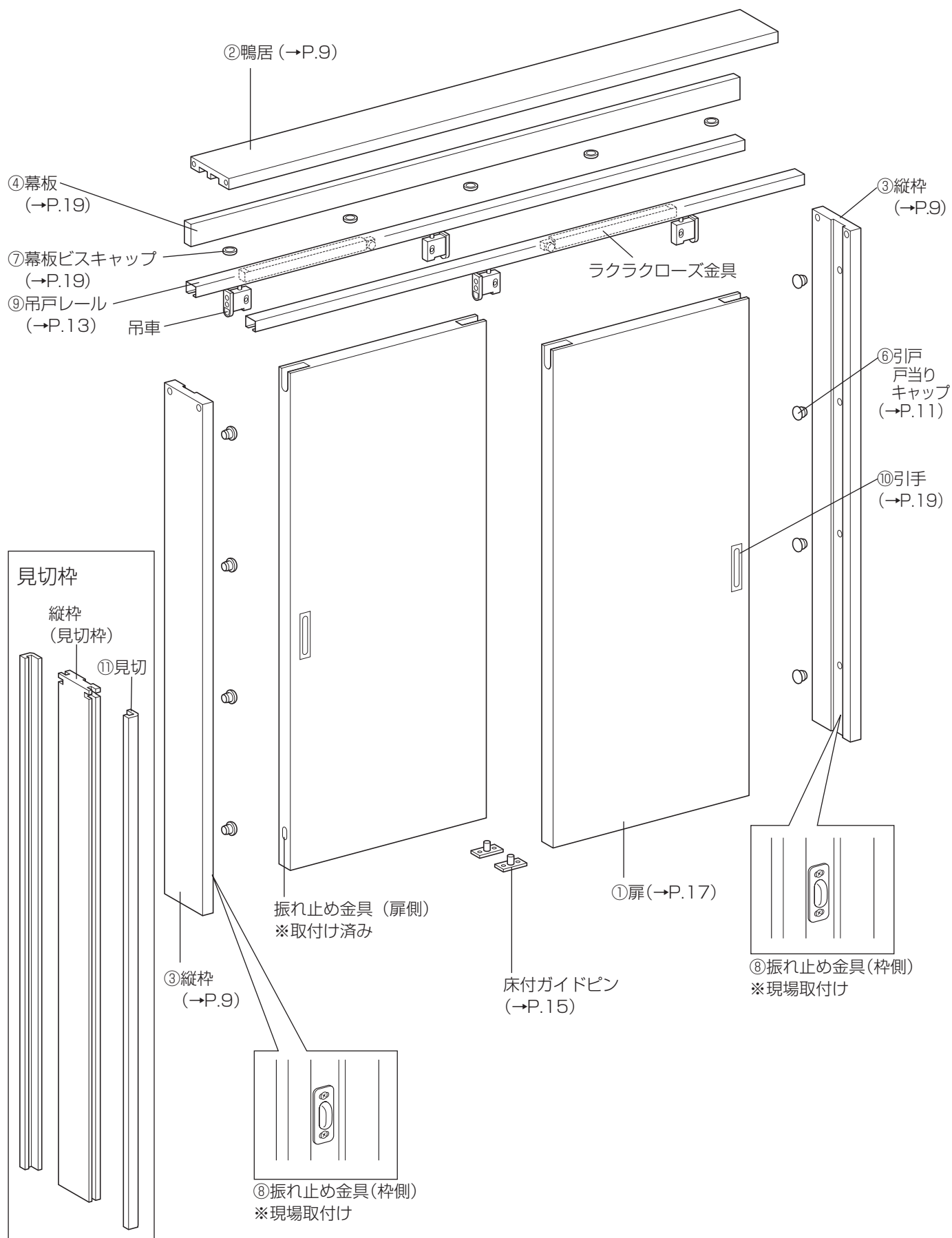


⑧引手の取付け (→P.19)



# 4. 各部のなまえと部材・部品表

## 1. 各部のなまえ



# 4. 各部のなまえと部材・部品表

## 2. 部材・部品表 (施工前に必ず部品を確認してください)

部材の種類と数量、状態を確認してください。

|        |                 | 部 品 名 称  | 数 量                | 備 考  |   |
|--------|-----------------|--|--------------------|--|---|
| 扉セット   | ①               | 扉本体  | 2                  | 振れ止め金具 取付済み  |   |
|        |                 | 床付ガイドピン<br> | 2                  | ナベφ4.5×16 (木下地用) : 4 <br>ナベφ4×25 (コンクリート下地用) : 4 <br>コンクリートプラグ 下穴φ5×35 : 4  |   |
| 枠セット   | ②               | 鴨居   | 1                  | プレカット済み  |   |
|        | ③               | 縦枠 (戸じゃくり付き)   | 2                  |  |   |
|        | ④               | 幕板   | 1                  | 厚み 15mm ※薄壁枠113はなし   |   |
|        | ⑤               | ビスセット  | 枠組立ビス              | 4  | φ4.2×55  |
|        |                 |  | 枠固定ビス              | 11   | φ5.3×55  |
|        |                 |  | 幕板取付ビス             | W1745:5<br>W1645:4   | M3×40    |
|        | ⑥               | 引戸当りキャップ   | 8                  | (ビス穴φ13)    |   |
|        | ⑦               | 幕板ビスキャップ   | W1745:5<br>W1645:4 | (ビス穴φ8)   |   |
|        | ⑧               | 振れ止め金具 (枠側) ※現場取付  | 2                  |   |   |
| 取付ビス   |                 | 4  | ナベφ4×12            |  |   |
|        |                 | 施工説明書・取扱説明書  | 1                  | 必ずお施主様にお渡しください。  |   |
| レールセット | ⑨               | 吊戸レール  | 2                  |   |   |
|        |                 | 取付ビス   | 10                 | φ3.5×50   |   |
|        | 吊戸アルミレールに取付済の場合 | ラクラクローズ機能付吊車   | 2                  | 吊車    |   |
|        |                 | トリガーセット  | 4                  |   |   |
|        |                 | 吊車 (ラクラクローズ機能なし)   | 2                  | 吊車    |   |
|        |                 | 吊車 (ラクラクローズ機能なし)   | 4                  | 吊車    |   |
|        |                 | 吊戸エンドキャッチ  | 4                  |   |   |
| 金具     | ⑩               | 引手   | 2                  | 詳しくは、引手に同梱の説明書をご覧ください。   |   |
| 見切     | ⑪               | 縦用   | 4                  |  |   |
|        |                 | 横用   | 2                  |  |   |

# 5. 枠の取付け

## お願い

- 製品を組み立てるときは、部材を直接床の上に置かないでください。  
製品または床材にキズがつくおそれがあります。
- 養生材または梱包材の上に、ビスや釘などが落ちていないか確認してから作業してください。

## 1. 開口部の確認

開口部の下地と寸法、水平・垂直を確認し、そり具合などの特性をつかんでください。組み立てた枠を取付ける際の目安になります。

### 1. 壁下地の条件を確認

|        |     |
|--------|-----|
| 木下地    | ○   |
| 軽量鉄骨下地 | ○*1 |

\*1 軽量鉄骨下地の場合には、12mm合板、サラドリルビスφ4長さ50mm以上を現場手配してください。(→P.10)

### 2. 床下地材の条件を確認

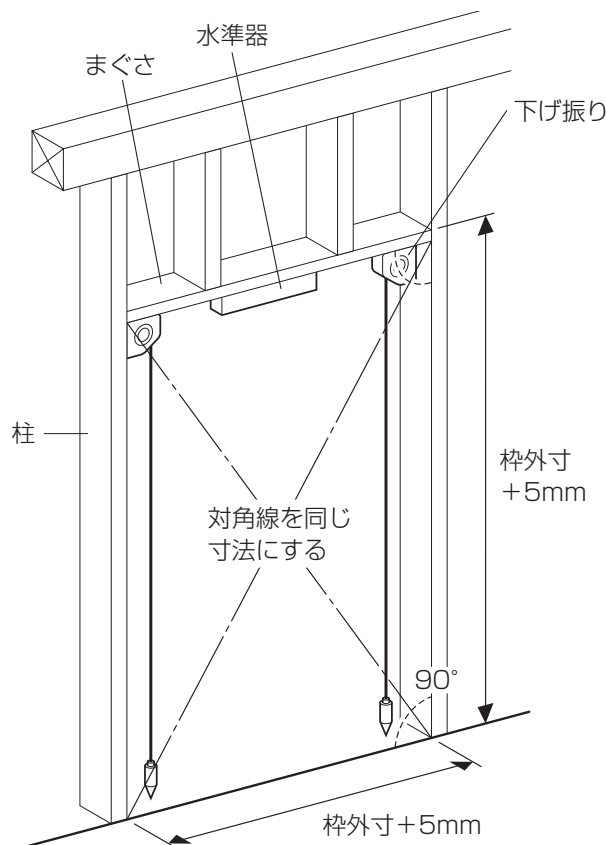
|            |          |   |                |   |     |
|------------|----------|---|----------------|---|-----|
| 在来<br>(木造) | 木質フロア    | ○ | マンション<br>(RC造) | 二重床   | ○   |
|            | コンクリート   | ○ |                | 直張床   | ○*2 |
|            | タイル      | × |                | コンクリート  | ○   |
|            | クッションフロア | × |                | *2 厚み13mm以上<br>*2 クッション性のある床材にはそのまま施工できません。<br>オトユカ(マンション用直張り防音フロア)は施工部分の緩衝材を取除き、下地に際根太を使用してください。 |     |
|            | カーペット    | × |                |   |     |
|            | 畳        | × |                |   |     |

### 3. 寸法の確認

開口部の幅と高さ、対角線の寸法を確認してください。

### 4. 水平・垂直の確認

柱の垂直を下げ振りで、床とまぐさの水平を水準器で確認してください。

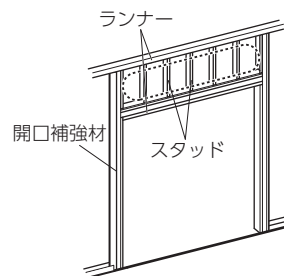


※枠外寸はP.3~4参照

## 警告

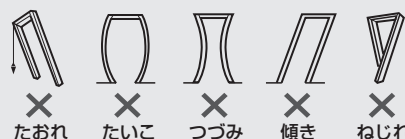
鉄骨造の場合、強度のあるランナーにスタッド(○部)を固定し、補強してください。

扉が上吊り式のため、補強されていないと上枠が垂れ下がり、扉がスムーズに開閉できなくなるおそれがあります。



## お願い

- 柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。  
柱・床・まぐさの水平・垂直が出ていないと、右記の原因になります。
- 開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。
- 扉は上吊り式です。まぐさを強度のある梁に吊束、または吊りボルトで必ず補強してください。
- 鉄骨造の場合、開口部に補強材が必要になるため、開口部寸法は現場にて調整してください。  
※開口部の補強材は、右記を参照ください。
- 軽量鉄骨下地の場合は、開口部に補強材を取付けてください。  
梁が弱いと上枠が垂れ下がり、扉がスムーズに開閉できなくなるおそれがあります。



|              |                                   |
|--------------|-----------------------------------|
|              | 6尺間口                              |
| 梁の断面寸法       | 105×180mm以上                       |
| 軽量鉄骨下地の開口補強材 | t1.6 厚み30mm以上<br>※公共建築工事標準仕様による場合 |

# 5. 枠の取付け

## 2. 枠の組立て

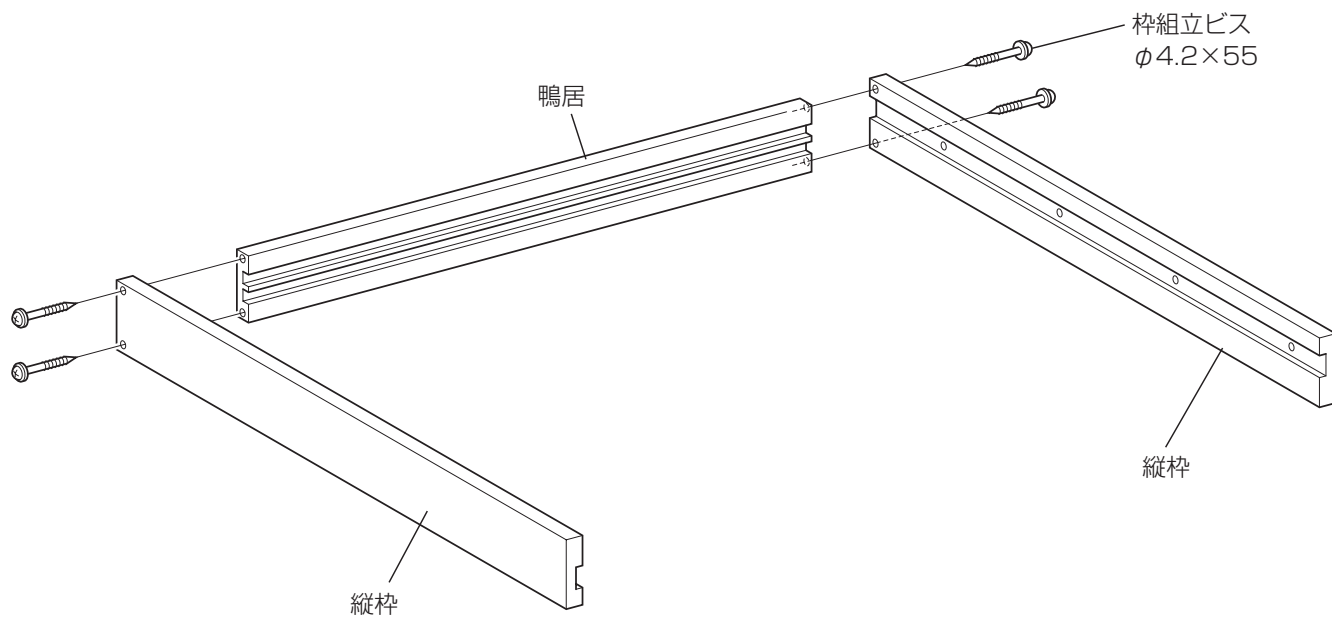
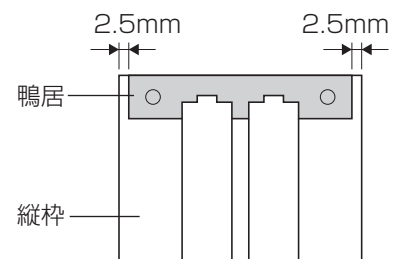
鴨居を縦枠にビスで固定してください。

**お願い**

縦枠に伸び寸法はありませんので、切断しないでください。

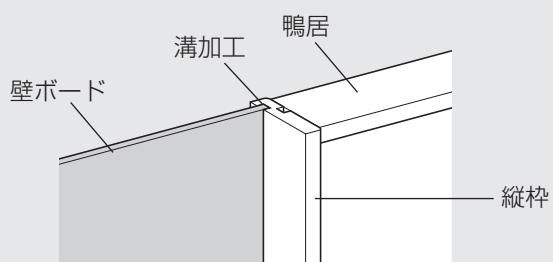


鴨居の取付状態



**お願い**

必要に応じて、枠の裏側に壁ボードを取付けるための溝加工をおこなってください。



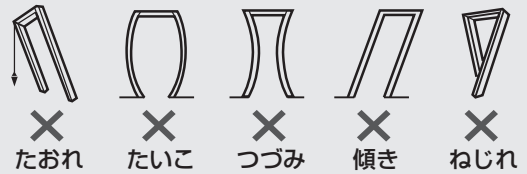
### 3. 枠の取付け

#### 【用意するもの（現場手配）】

- スペースー  
柱の幅程度の木片、厚みはすき間に合ったもの。乾燥した材料を用意してください。
- 木工用ボンド  
スペースーに塗布します。
- 軽量鉄骨下地の場合の枠固定ビス

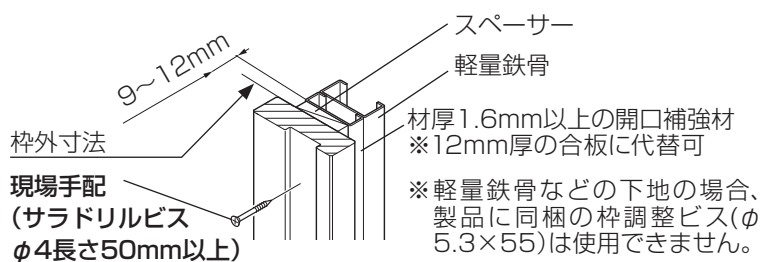
#### お願い

- 枠の水平・垂直を確認してから取付けてください。  
扉が閉まりにくくなったり、枠との間に隙間ができる原因となります。

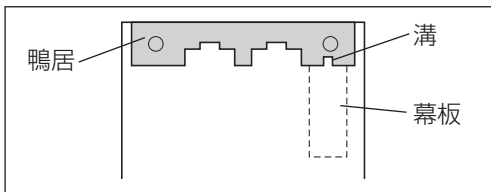


#### ● 軽量鉄骨下地の場合

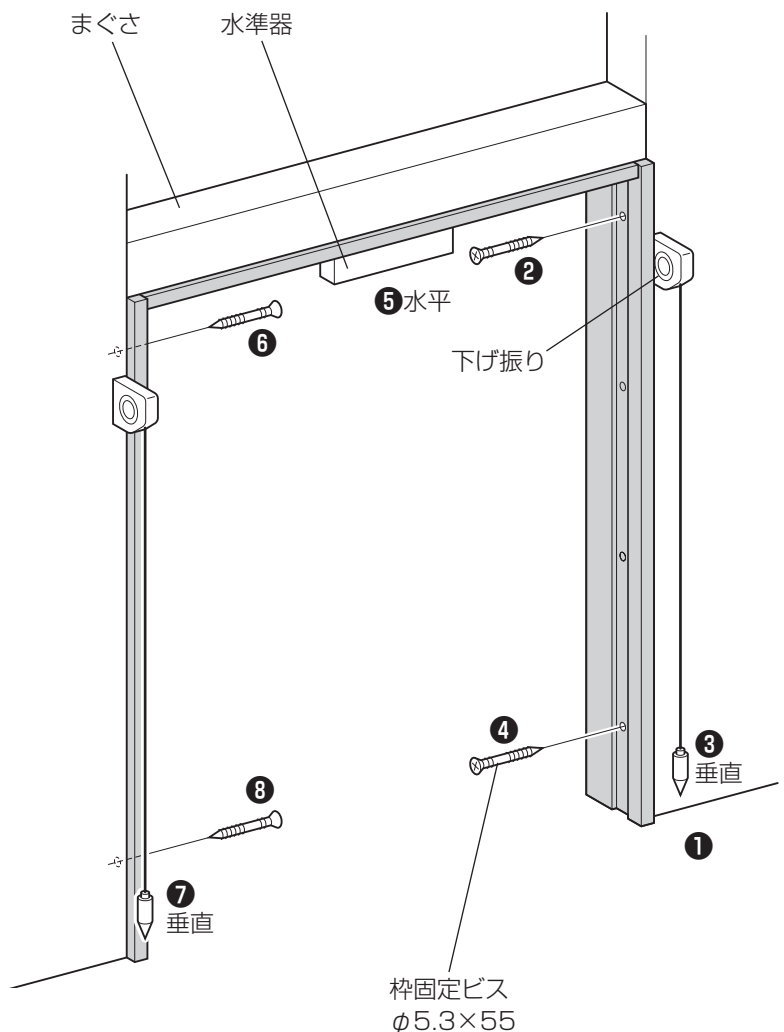
開口部に補強材を取付け、φ3のリード穴をあけてからサードリルビスφ4・長さ50mm以上（現場手配）で固定してください。



1. 組み立てた枠を開口部にはめ込んでください。①  
※ 鴨居の片側の溝のある方に幕板がつきます。向きを確認のうえ、取付けてください。



2. 片方の縦枠の上部を、枠固定ビスで固定してください。②
3. 下げ振りを使って縦枠の垂直を出し③、縦枠の下部を枠固定ビスで固定してください。④
4. 水準器を使って鴨居の水平を出し⑤、もう一方の縦枠の上部を枠固定ビスで固定してください。⑥
5. 下げ振りを使って縦枠の垂直を出し⑦、縦枠の下部を枠固定ビスで固定してください。⑧



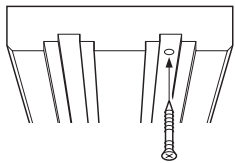
## 5. 枠の取付け

6. 枠固定ビスの上下のすき間に合ったスペーサー（木片）をはさみ、垂直を調整してください。⑨

※ スペーサーのサイズは柱の幅程度のものを用意し、木工用ボンドを塗ってください。

7. 鴨居に水準器を当てて水平を確認しながら⑩、鴨居を枠固定ビスで、開口部に固定してください。⑪

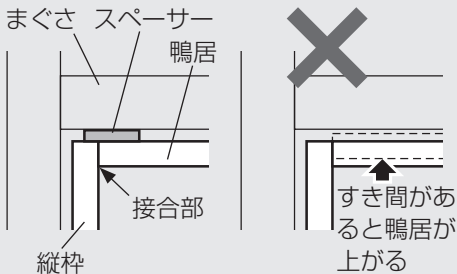
鴨居の溝のリード穴を使って、枠固定ビスで取付けてください。



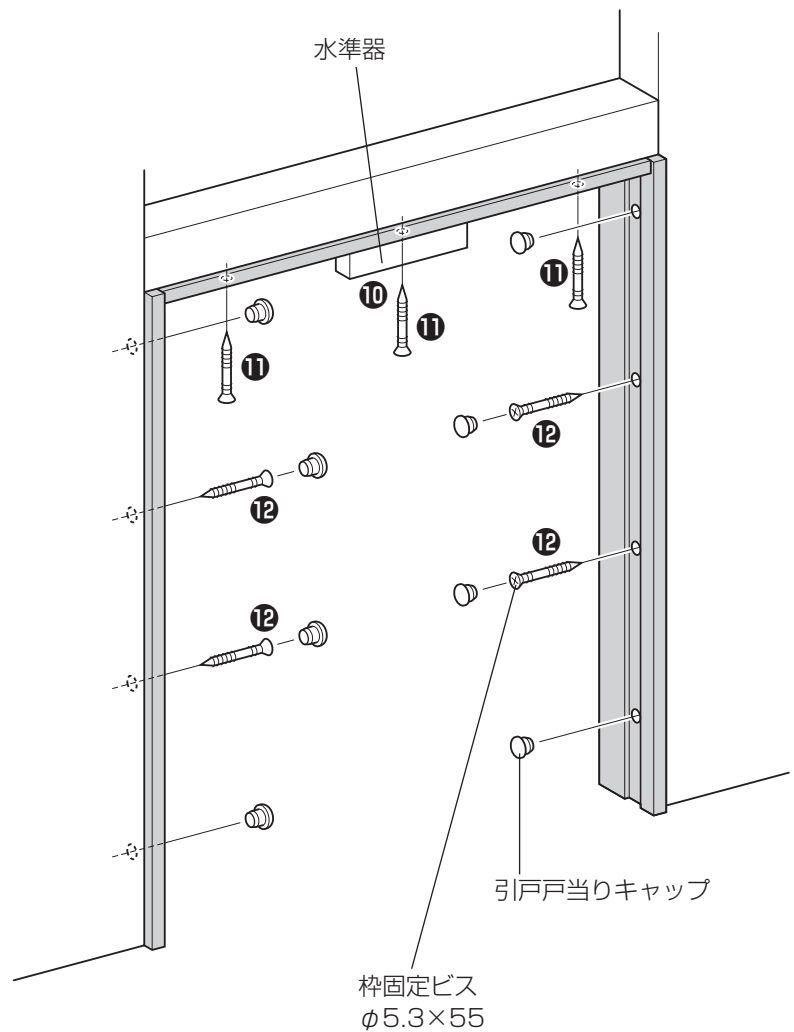
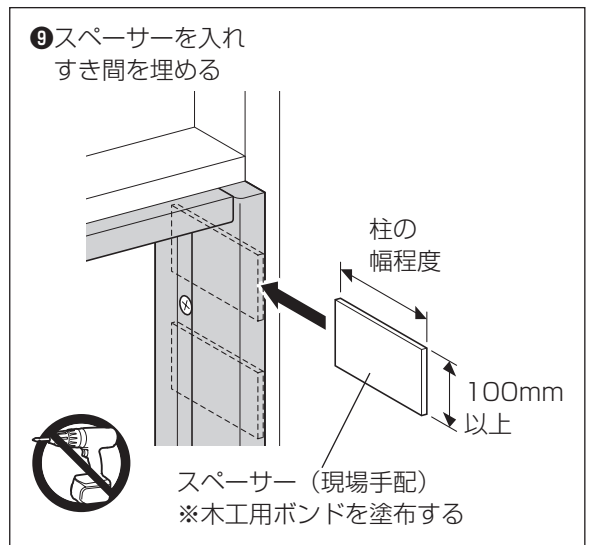
8. 鴨居とまぐさとの間にすき間がある場合は、スペーサーをはさんで水平になるように調整してください。

### お願い

鴨居・縦枠の接合部とまぐさの間に、すき間ができないようにスペーサーを入れてください。



9. 縦枠の中央部を柱に枠固定ビスで固定してください。⑫



## 4. 引戸戸当りキャップの取付け

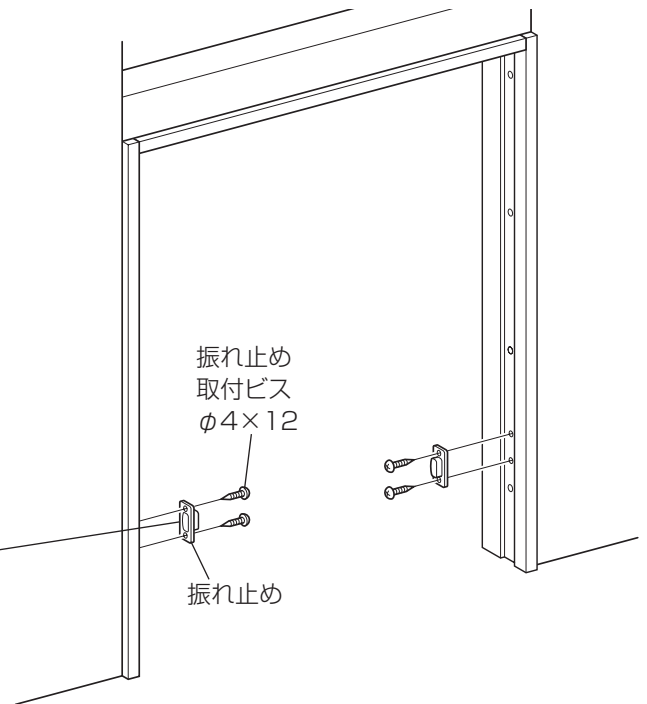
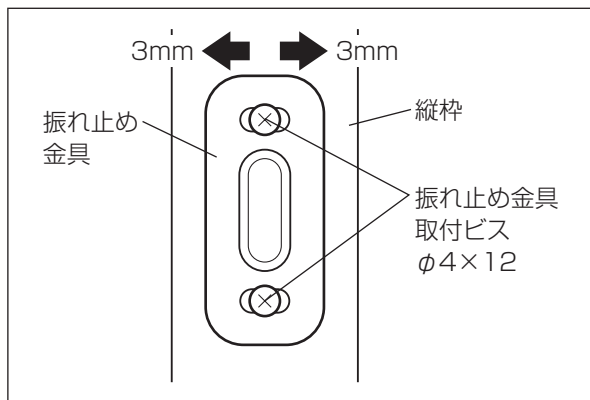
引戸戸当りキャップを、縦枠に取付けてください。

## 5. 振れ止めの取付け

振れ止めを縦枠下穴にビスで取付けてください。  
振れ止め金具を縦枠(下穴加工済み)にビスで取付けてください。

※振れ止め金具(枠側)の取付位置を、扉の前後方向に各3mmずつ調整できます。

扉を閉めた時、枠側と扉側の金具の嵌合が合わない場合、枠側の金具の取付位置が調整可能です。



## 6. 幕板について

扉の取付けが終わってから、幕板を取付けますので、なくしたり破損しないように注意してください。(→P.19)

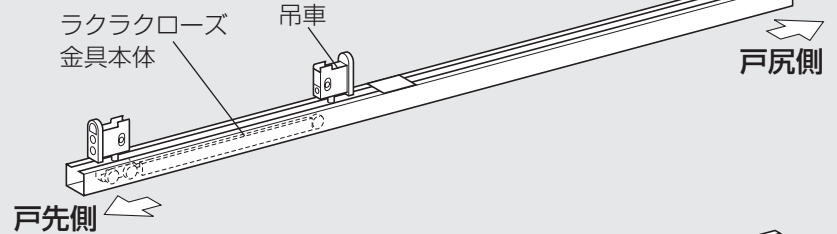
# 6. 吊戸レールの取付け

## 1. 取付け前の確認

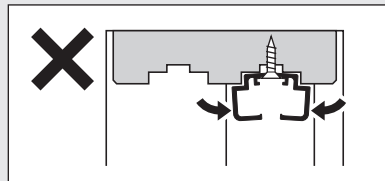
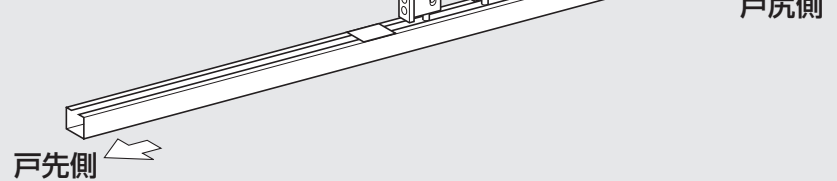
### お願い

- 吊戸レールは立てかけないでください。立てかけると、ラクラクローズ機能に負荷がかかり破損するおそれがあります。
- 吊戸レールはラクラクローズ金具本体、ラクラクローズ受金具や吊車で構成されています。これらの部材を取外さないでください。
- 吊戸レールを取付ける際、ビスで締付けすぎないように注意してください。レールが変形すると、扉がうまく開閉しないおそれがあります。扉の走行が重い場合は、レールが変形しない程度までビスをゆるめてください。

ラクラクローズ機能ありの場合

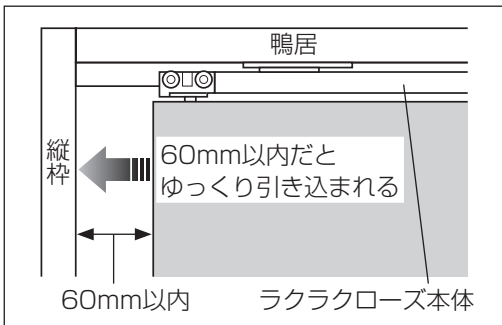


ラクラクローズ機能なしの場合

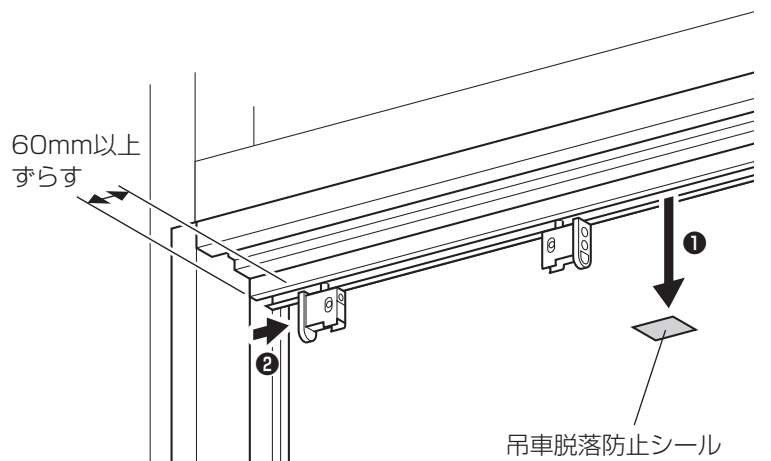


### ラクラクローズ機能ありの場合

吊車は、吊戸レール内のラクラクローズ金具に内蔵されているバネで引っ張られた状態で固定されています。  
戸先側のレールをビスで固定する際は、吊車脱落防止シールをはがしてから①、吊車をバネに引き込まれない位置（60mm以上）までずらしてください。②



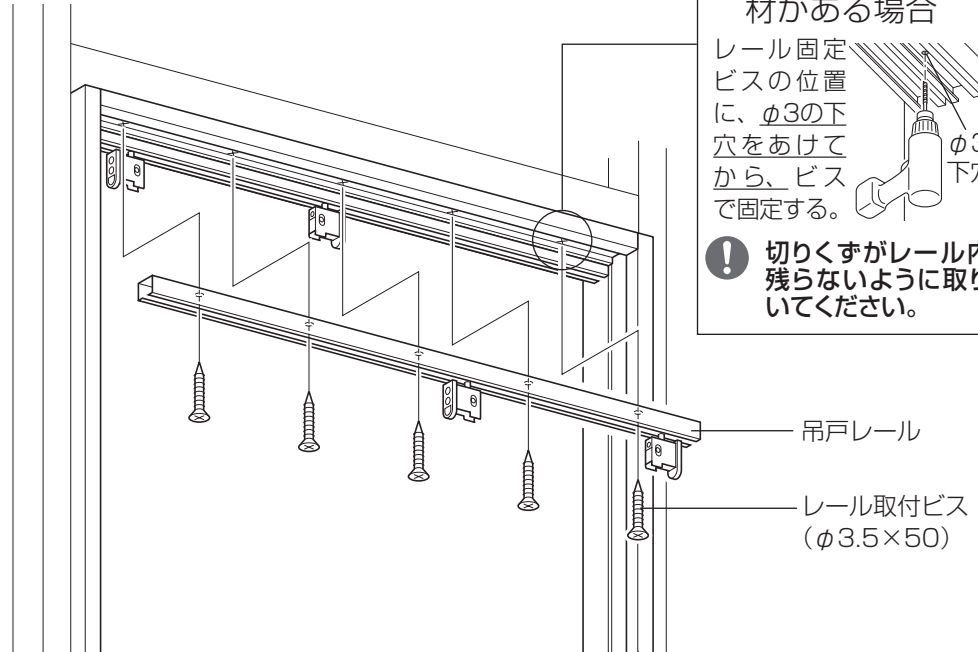
60mm以上ずらす



吊車脱落防止シール

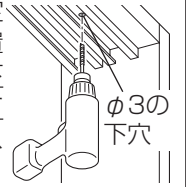
## 2. 吊戸レールの取付け

吊戸レールを鴨居にビスで取付けてください。



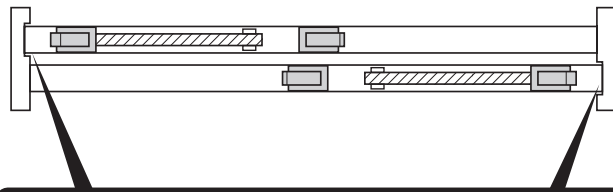
●軽量鉄骨下地で  
鋼鉄製の開口補強  
材がある場合

レール固定  
ビスの位置  
に、φ3の下  
穴をあけて  
から、ビス  
で固定する。



❗ 切りくずがレール内に  
残らないように取り除  
いてください。

※図は上から見えています。



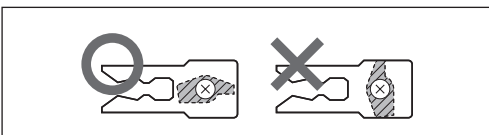
縦枠の戸じゃくり側にラクラクローズ金具がセットされている

← 戸先方向

レール上に矢印シールが貼ら  
れている側を縦枠（戸じゃくりあり）  
に向けてください。

## 3. 吊戸エンドキャッチの取付け（ラクラクローズ機能なしの場合）

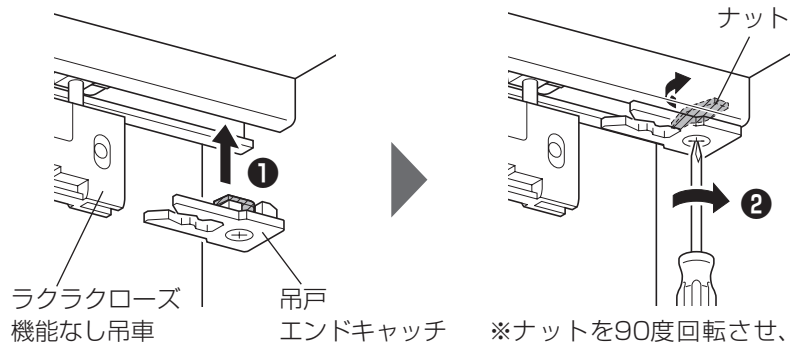
1. 取り付ける前に、吊戸エンド  
キャッチのナットを図のような  
向きにしてください。



2. 吊戸エンドキャッチを吊戸レ  
ールの戸先側に差込み、ネジを回  
して固定してください。

取付位置

●ラクラクローズ機能なし：戸先・戸尻の両側



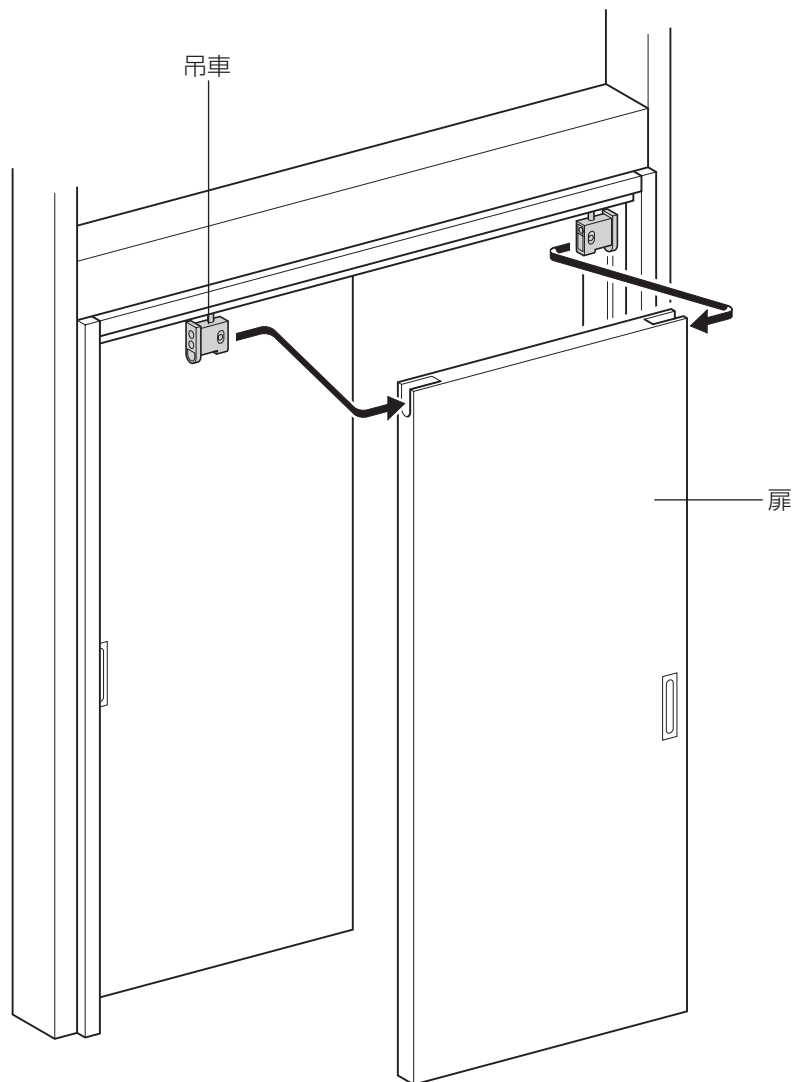
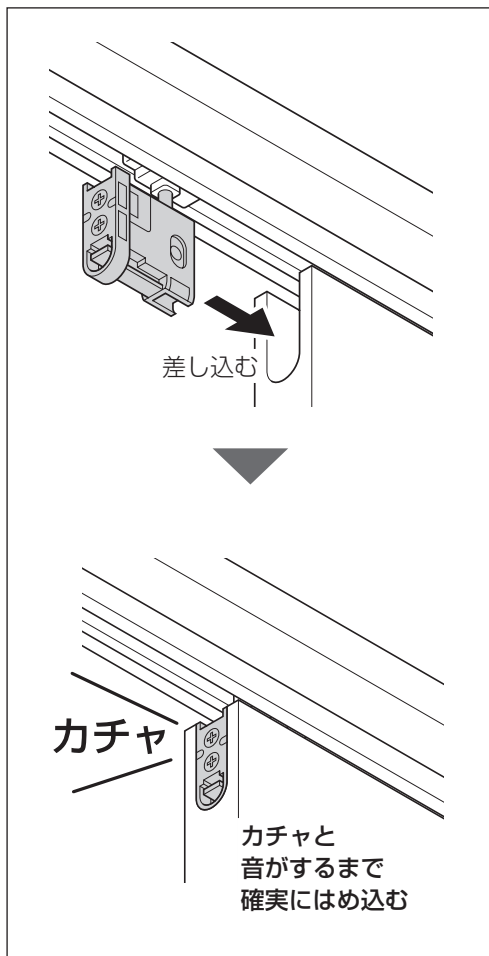
※ナットを90度回転させ、  
上レールのすき間から  
ナットが落ちないように  
固定してください。

# 7. 床付ガイドピンの取付け

## お願い

- 製品を組み立てるときは、部材を直接床の上に置かないでください。  
製品または床材にキズがつくおそれがあります。
- 養生材または梱包材の上に、ビスや釘などが落ちていないか確認してから作業してください。

### 1. 扉に吊車を取付けてください。



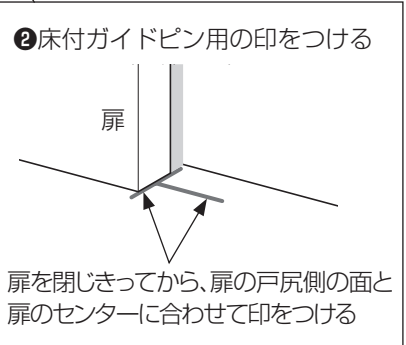
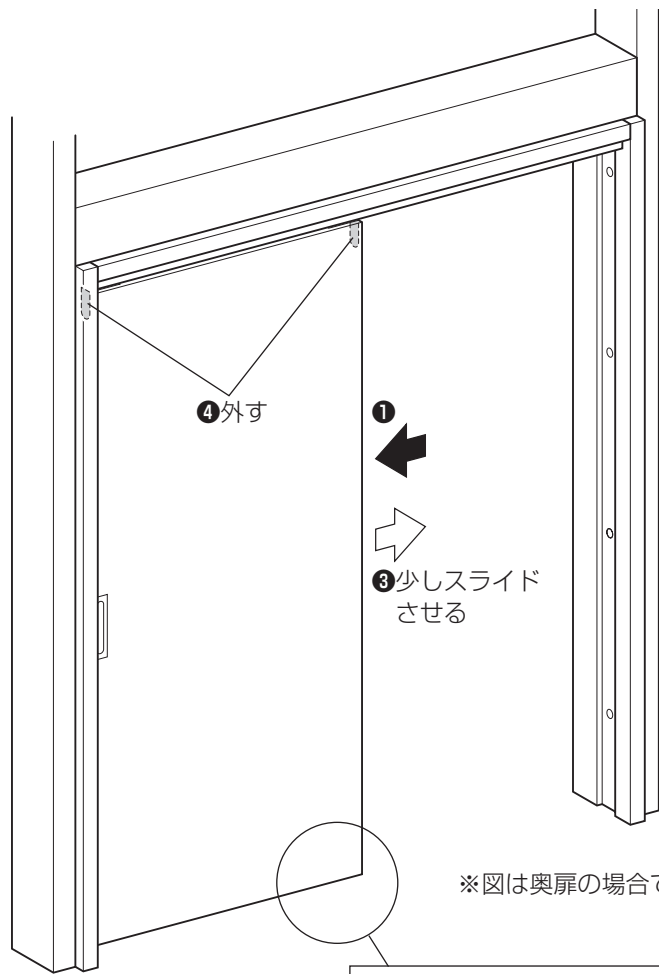
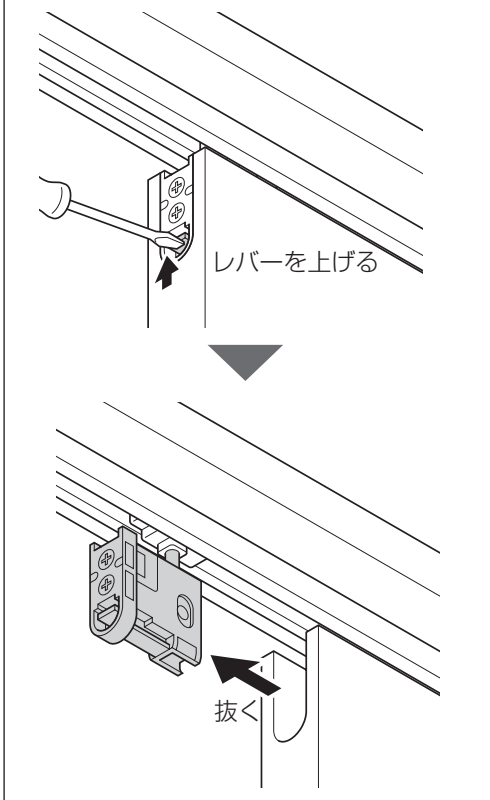
## お願い

- 床に傷がつかないように、養生材を敷いてから作業してください。
- 吊車が扉に確実にはめ込まれていることを確認してください。

### 2. 扉の前後・上下調節をおこなってください。(→P.18)

3. 扉を閉めてください。①
4. 床付ガイドピンを取付ける位置に、印をつけてください。②
5. 扉を少しスライドさせ③、吊車を外して、扉を取外してください。④

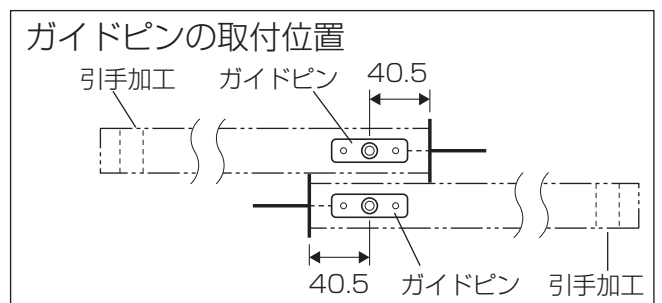
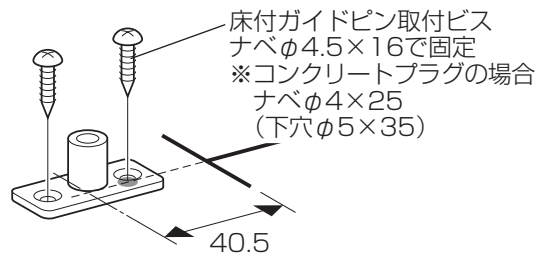
吊車の外しかた



**お願い**  
 外した扉は立て掛けないでください。  
 平らな安定した場所に梱包材などを敷き、  
 その上に平置きしてください。

6. 「4」 でつけた印に合わせて、床付ガイドピンをビスで取付けてください。

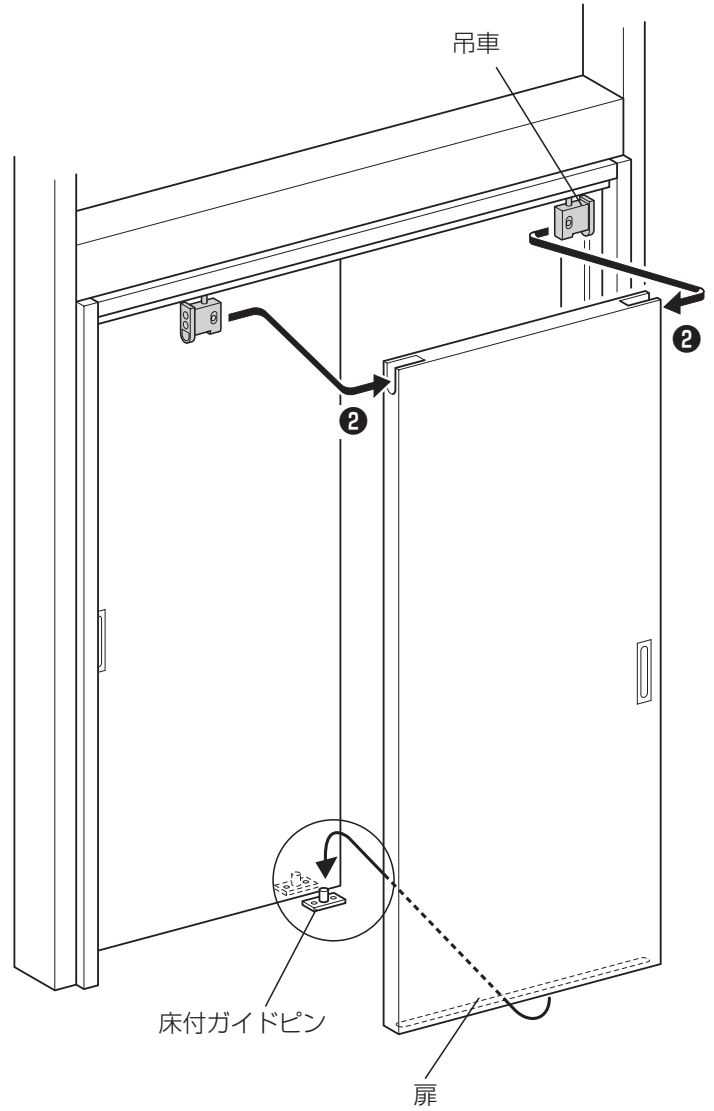
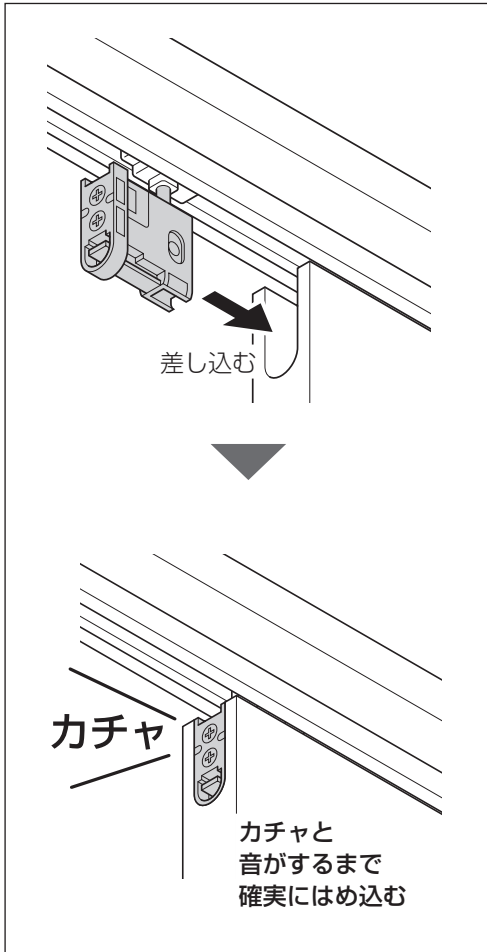
**お願い**  
 ●コンクリート下地に取付ける場合は、  
 同梱のコンクリートプラグを使用し  
 てください。(下穴φ5×35)



# 8. 扉の取付け

## 1. 扉の取付け

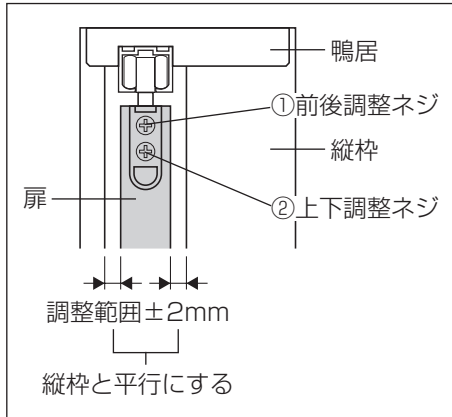
1. 扉下部の溝を床付ガイドピンに通してくだ  
さい。①
2. 吊車を扉に取付けてください。②



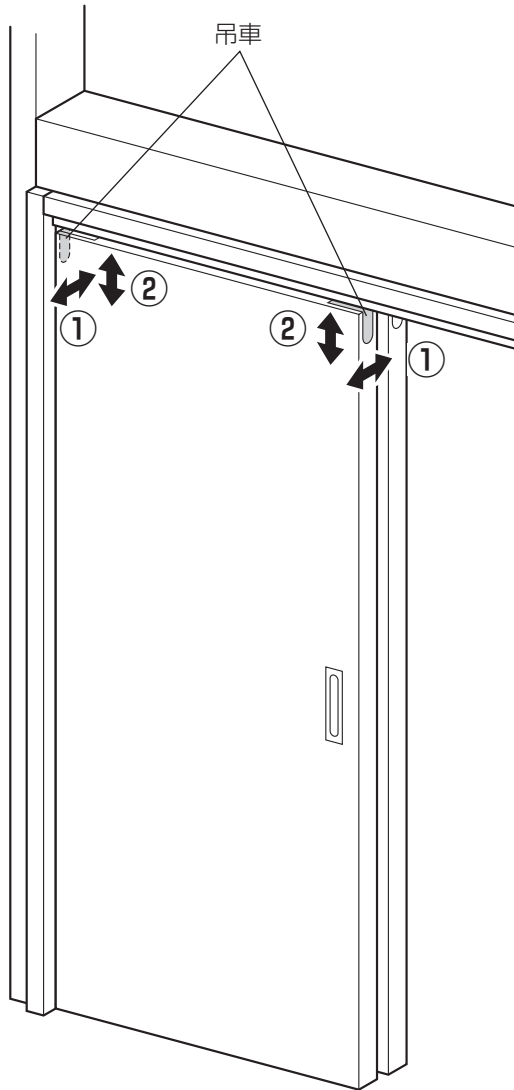
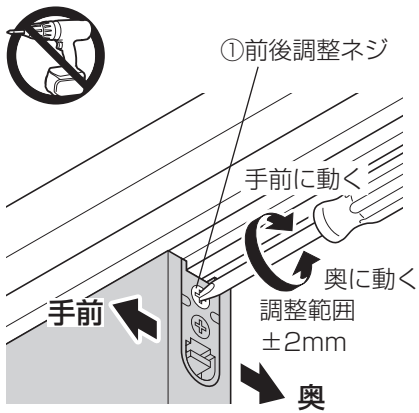
## 2. 扉の調整

吊車の前後調節ネジと上下調節ネジで、扉の位置・傾きを調整してください。

扉と縦枠を平行に調節する  
(前後調整)

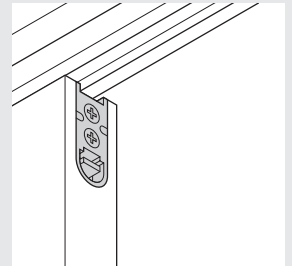


①扉上部

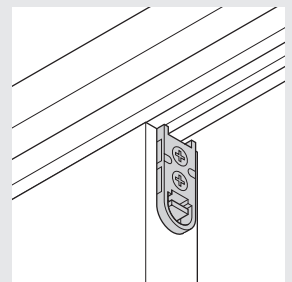


お願い

吊車の取付状態を確認してください。



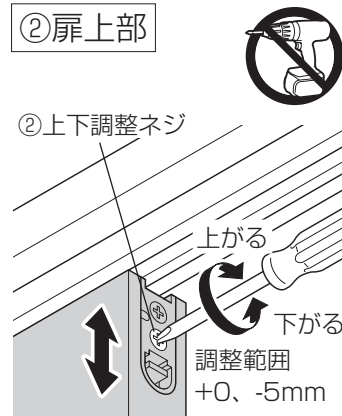
吊車がはみ出している



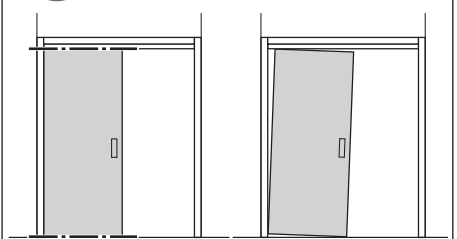
※扉の調整後、扉を閉めた時、枠側と扉側の金具の嵌合が合わない場合、枠側の金具の取付位置を調整してください。(→P.12)

扉の傾きを調節する (上下調整)

②扉上部



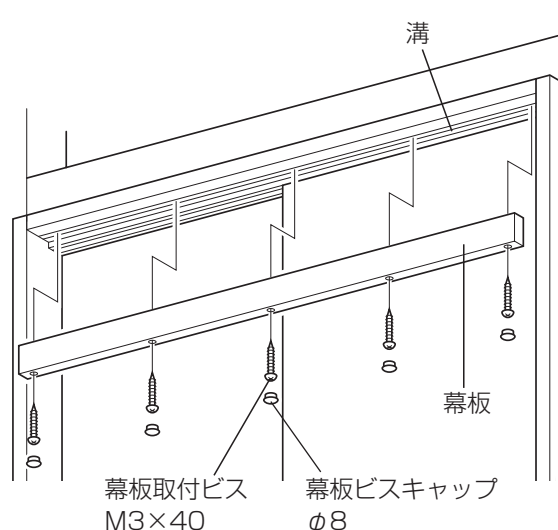
扉を水平にする



## 9. 幕板の取付け

※固定枠(薄壁)113には幕板はありません。

1. 幕板をビスで取付けます。  
ビスが鴨居の幕板取付け溝にあたるように位置をあわせ、同梱のビス(W1745:5本、W1645:4本)で固定してください。
2. ビス穴に、幕板ビスキャップ(φ8)をはめ込みます。



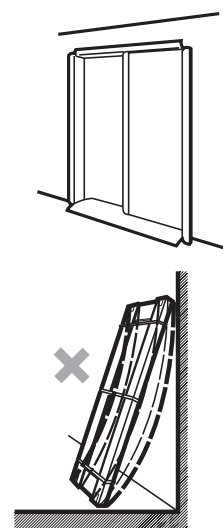
## 10. 引手の取付け

引手に同梱されている説明書を参照して、引手を扉に取付けてください。

## 11. 扉の養生

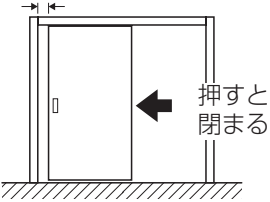
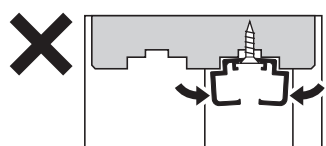

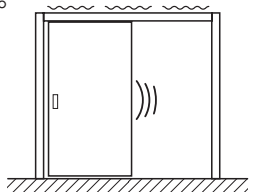
工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。

- ⊘ 養生テープは直接貼らないようにしてください。  
直貼り使用すると、シートが剥がれることがあります。  
※養生テープをはがす際は、ドライヤー加温などでゆっくと剥がしてください。常温でテープを急激に剥がすと、シートが剥がれる原因になります。
- ⊘ 扉を壁にたてかけて保管しないでください。  
扉が変形するおそれがあります。  
扉は梱包ケースに再度入れ、平積み保管してください。



# 12. ラクラクローズの動作確認

扉を開閉し、ラクラクローズが正常に動作することを確認してください。  
 下記のような場合は、考えられる原因を参照し、それぞれ調整してください。

| こんなときは  | 考えられる原因  | 調整のしかた  | 参照ページ                             |
|---|--|---|-----------------------------------|
| <b>ラクラクローズが機能しているが、扉が最後まで引込まれずにすき間ができる。</b><br>①扉を押すと最後まで閉まる場合<br> | 扉がねじれていて、ガイドローラーと床付下レールが擦れている。<br><br>ビスの締めすぎによって、吊戸レールが変形し、溝幅が狭くなっている。<br> | 吊車の前後調節をおこない、扉のねじれを解消してください。<br><br>レールが変形しないように、ビスをゆるめてください。それでも直らない場合は、レールの交換が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。          | P.18<br><br><br>P.13              |
| ②扉を押しても最後まで閉まらない場合<br>  | 扉と縦枠のすき間が10mm程度の場合は、扉が床付ガイドピンとぶつかっている。   | 吊車の上下調節をおこない、扉と床付ガイドピンが擦れないようにしてください。<br><br>床付ガイドピンの取付位置を変えてください。  | P.18<br><br>床付ガイドピンの正常な位置<br>P.16 |
| <b>異音が発生する。</b><br>扉全体に擦れたような音がする。<br>                           | ビスの締めすぎによって、吊戸レールが変形し、溝幅が狭くなっている。<br><br>扉と床付ガイドピンが擦れている。  | レールが変形しないように、ビスをゆるめてください。それでも直らない場合は、レールの交換が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。<br><br>吊車の上下調節をおこない、扉と床付ガイドピンが擦れないようにしてください。 | P.13<br><br>P.18                  |

※以上の処置をおこなっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。




# 1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

この説明書に書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や物的損害を防ぐためのものです。必ずお守りください。


## 警告表示の種類と内容

|   |           |                               |   |           |                                 |
|---|-----------|-------------------------------|---|-----------|---------------------------------|
|  | <b>警告</b> | 誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容 |  | <b>注意</b> | 誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容 |
|---|-----------|-------------------------------|---|-----------|---------------------------------|

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。


|   |             |   |                |   |     |                       |
|---|-------------|---|----------------|---|-----|-----------------------|
|  | してはいけない内容です |  | 必ず実行していただく内容です |  | お願い | 留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法など |
|---|-------------|---|----------------|---|-----|-----------------------|

### 警告

-  お客様で、製品の解体や移設・レイアウト変更をしないでください。


組立・施工が不十分ですと、破損や転倒によりけがをする原因になります。必ずお買い上げの販売店、工事店にご相談ください。

### 注意

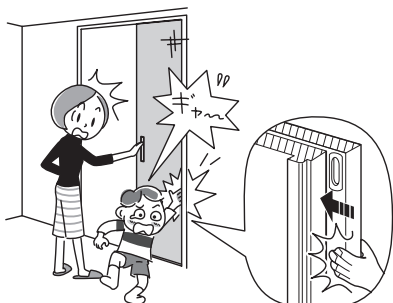
-  扉の開閉は、静かにゆっくりおこなってください。


乱暴に開閉しますと扉の破損や、吊車の脱輪によるけがのおそれがあります。



-  扉を開閉するときは、必ず引手を持っておこなってください。


引手以外を持って開閉しますと、手や指をはさみ、けがをするおそれがあります。特に、小さなお子様には十分にご注意ください。



-  扉に強い衝撃を与えたり、扉にもたれかかったりしないでください。


扉の破損や吊車の脱輪による、けがのおそれがあります。




-  この製品の分解や改造はしないでください。

製品強度が失われ、けがや破損の原因になります。




-  各部のビスがゆるんだままで使用しないでください。

本体の変形・破損や転倒により、けがをする原因になります。早めに締め直してください。

-  部材の欠落や変形など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店、工事店にご相談ください。

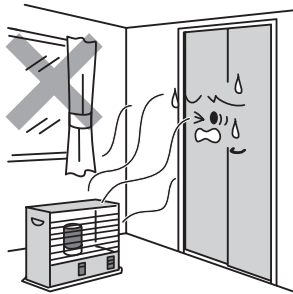
そのまま使用していると、製品の破損により、けがをすることがあります。

-  製品に貼ってあるラベルは、はがさないでください。

誤った使いかたや事故を防止するためのものです。

## 2. 使用上のお願い

- 使用開始後、扉と縦枠との間にすき間が出たり、開閉時の動きが重くなったり、ガタついたりするときは、18ページを参照して、各部の調整をおこなってください。  
不具合が出たまま使用していると、故障の原因になります。
- ストープなどの熱源を、扉に近づけないでください。扉が反ったり、表面がゆがんだりするおそれがあります。

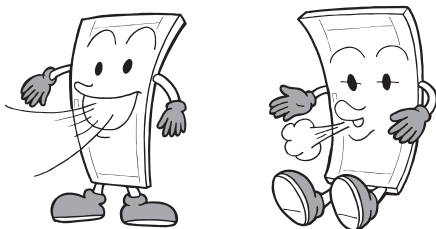


### 木質扉の反りについて

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた内装ドアは、空気中の水分を吸収したり放出したりすることによって、伸縮する特性を有しています。

この空気中の水分の吸収・放出は、内装ドア周辺の温度、湿度などの環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象と言えます。

特に内装ドアの室内側と室外側とで環境条件が大きく異なる場合、木質材料に「反り」という現象が発生することがあります。



- 製品にプラスチックやビニールなどの樹脂製品やゴム製品を長期間接触した状態にしないでください。塗装との化学反応により、接触面が軟化したり、ベトツキ現象や色の移行を起こす原因になります。
- 製品にセロハンテープやシールなど、粘着性のあるものを貼付けないでください。表面材がはがれる原因になります。
- 製品に飲み物をこぼしたままにしたり、ぬれ雑巾などを放置しないでください。表面材の変色・はがれ・ひび割れ・その原因になります。必ず水分が残らないように拭き取ってください。

### 「反り」の発生をできるだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

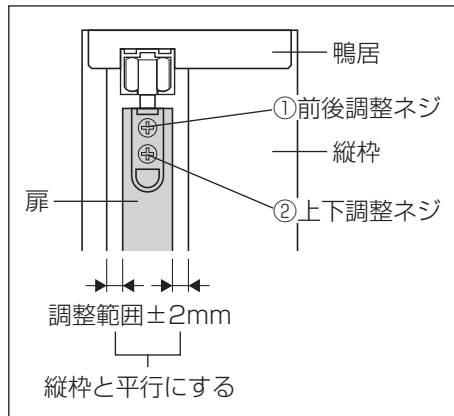
1. エアコン、暖房器具などをお使いになる場合は、製品に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
2. 夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房などにより、内装ドアの室内側と室外側との環境条件の差を極端に大きくしないでください。
3. 製品に直射日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、スタレなどを設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は、内装ドアの室内側と室外側との環境条件を近づけることによって、小さくなる場合があります。

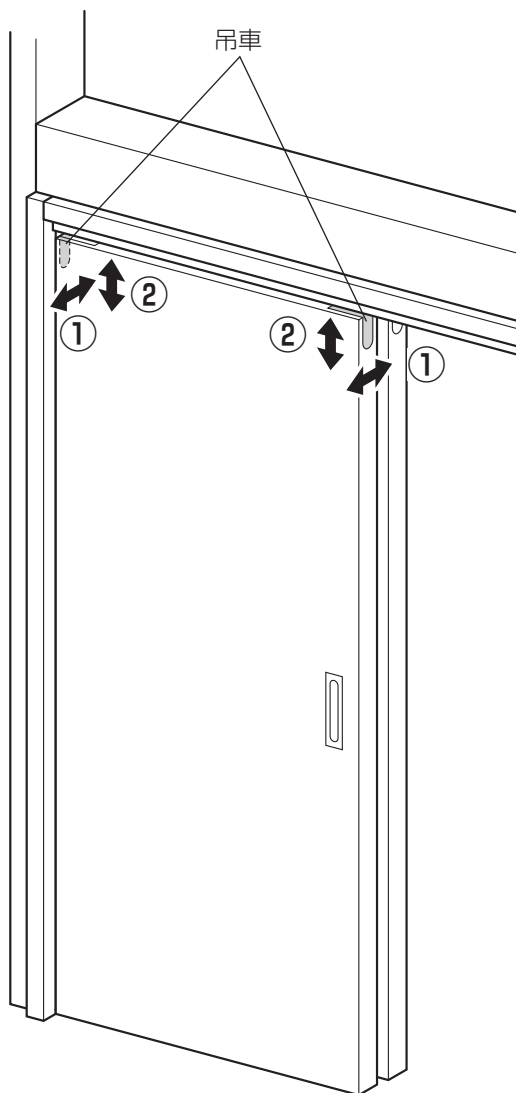
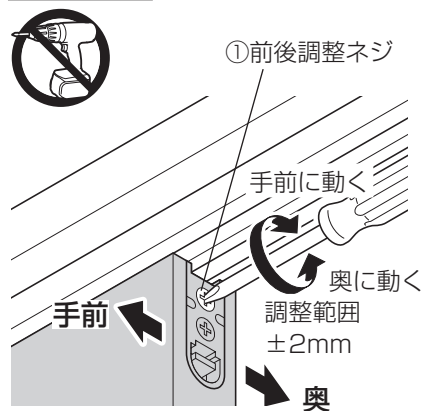
# 3. 扉の調整のしかた

吊車の前後調節ネジと上下調節ネジで、扉の位置・傾きを調整してください。

扉と縦枠を平行に調節する  
(前後調整)

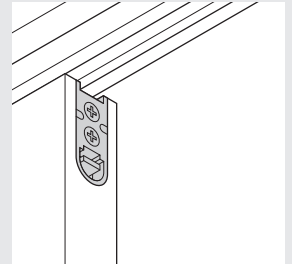


①扉上部

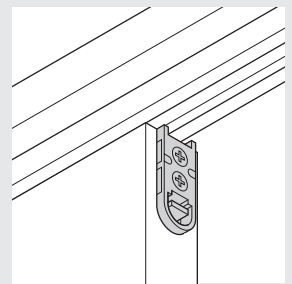


お願い

吊車の取付状態を確認してください。



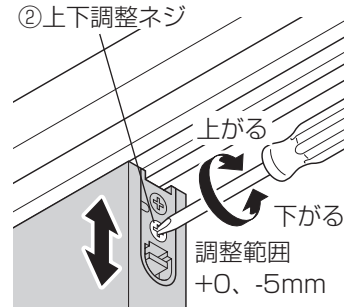
吊車がはみ出している



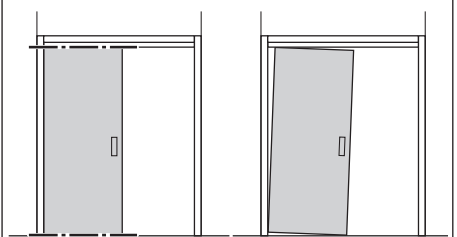
扉の傾きを調節する (上下調整)

②扉上部

②上下調整ネジ



扉を水平にする



# 4. お手入れのしかた

- 日常のお手入れは、乾拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、水でうすめた中性洗剤につけた雑巾を固く絞って拭いた後、乾拭きしてください。

## お願い

- 酸、アルカリ性洗剤やアルコールやシンナー、ベンジンなどを使用しないでください。  
表面のツヤが無くなったり変色するおそれがあります。



## ■定期的な点検項目

製品の長期間の使用に伴い、部品などに劣化（経年劣化）が生じ、安全上の支障が出るおそれがあります。経年劣化による重大事故を防止し、製品を長く安全にご使用いただくために、お客様自身による以下の点検を実施いただきますよう、お願いします。

| 点検部位    | 点検項目            | 兆候有無 | 経年劣化に伴う具体的な事象 |
|---------|-----------------|------|---------------|
| 吊車      | 吊車が扉から抜けかけていないか | 有・無  | 扉のガタツキ、脱落     |
| 床付ガイドピン | 扉がスムーズに動くか      | 有・無  | 扉のガタツキ        |

## ⚠ 注意

- ❗ 点検後、上記のような異常が発見された場合は直ちに使用を中止し、施工された施工業者様へ連絡し、メンテナンスを受けてください。

そのまま使用していると、部材の脱落などにより、けがをするおそれがあります。





# DAIKEN製品の品質保証について

弊社では、下記対象製品について、「保証期間一覧表」に示す期間、保証事項に記す内容に基づき、無料で修理させていただきます。  
保証期間経過後の修理については有料となります。

## ■対象製品

公共・商業施設向けドア hapia public  
吊戸引違

## ■保証事項

通常的环境下にて、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態（前提条件）で、弊社の責任に起因する製品不具合（保証期間一覧表参照）を無料で修理します。

なお、本内容は日本国内においてのみ有効です。

※修理とは、壊れたり傷んだりした部分に手を加えて、再び使用できるようにすること。

（原則、新品交換は含みません）

## ■保証期間

弊社製品の施工完了後、または物件の引渡後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を無料で修理する期間としております。（保証期間一覧表参照）  
保証期間経過後の修理については有料となります。

### 保証期間一覧表

|                     | 保証事項 |                    | 保証期間 |    |
|---------------------|------|--------------------|------|----|
|                     | 保証箇所 | 保証対象となる不具合現象       | 起算時期 |    |
| 使用上の著しい支障が生じないこと    | 扉    | 作動不良(故障)           | 引渡後  | 2年 |
| 外観上の著しい変形・変質が生じないこと |      | 変形、変質(反り、ハガレ、クラック) |      |    |

※1:「著しい」の定義

正常な施工・使用状態のもとで経過時間を考慮し、客観的に見て通常の状態から逸脱している度合いが極めて大きいことをいいます。

※2:保証期間起算時期について

保証事項が「使用」に係るものについては、保証期間を「物件引渡後」から起算します。それ以外のものについては、「当該製品施工完了後」から起算します。

## ■免責事項

・製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外となります。

- 1) 建物の設計・施工に起因する不具合
- 2) 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- 3) 自然現象・周辺環境など（※1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れまたはその他の不具合
- 4) 室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取付けられたことに起因する不具合
- 5) 極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取付けられたことに起因する不具合
- 6) 建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
- 7) 入居者または第三者の不適切な使用または維持管理などに起因する不具合
- 8) 取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
- 9) 経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
- 10) 用途外に使用された場合の故障および損害（例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合など）
- 11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキウイムシなどの虫害に起因する不具合
- 12) 仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
- 13) 保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
- 14) 製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する不具合
- 15) 離島などの遠隔地への出張を要する修理をおこなう場合、出張に要する実費
- 16) その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合

※1: 火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

## ユーザー登録サービス

製品を未永く安全にご使用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。  
ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です!!

登録はこちらから

<https://www.daiken.jp/qr/user/>



ユーザー登録いただいた方は、次の特典が受けられます

特典 パーツショップ製品10%割引  
ご登録いただくと、DAIKENのパーツショップ掲載製品を通常価格の10%割引でご購入いただけます。

## お問い合わせ窓口について

●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

### 製品に関するお問い合わせ

DAIKENお客様センター

☎ 0120-787-505  
(フリーダイヤル)

●受付時間…平日9:00~17:00

(土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいております)

<https://www.daiken.jp/qr/form01/>

メールで写真も送ることができます。



### 修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ

部品のネット販売サイトです。

※購入に際しては登録が必要です。

<https://www.daiken.jp/qr/service/>

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶

▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ



ご相談窓口における個人情報の取扱い

大建工業株式会社および大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針(プライバシーポリシー)」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。(大建工業株式会社プライバシーポリシー)に申しましては、当社ホームページに掲載しております。) なお、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくためのアンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス <https://www.daiken.jp/>